

令和6年11月20日(水)

令和6年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

# 会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合



# 令和6年第3回岸和田市貝塚市 清掃施設組合議会定例会議事日程

〔 令和6年11月20日（水） 〕  
〔 午後1時30分 開 議 〕

- |     |       |   |
|-----|-------|---|
| 第 1 |       | 会期決定について                                |
| 第 2 | 報告第1号 | 令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合継続費精算報告書の報告について       |
| 第 3 | 認定第1号 | 令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて          |
| 第 4 | 議案第7号 | 岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事請負契約の締結について |
| 第 5 | 議案第8号 | 令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）         |

出席議員（14名）

1番	井 舍	英 生	2番	海 老 原	友 子
3番	河 合	達 雄	4番	橘 川	亜 紀
5番	栞 原	佳 一	6番	反 甫	旭
7番	友 永	修	8番	西 田	武 史
9番	出 原	秀 昭	10番	中 川	剛
11番	中 西	真 知 子	12番	南 野	敬 介
13番	蓮 池	陽 佑	14番	前 園	隆 博

欠席議員（なし）

---

出席議事説明員

管 理 者	永 野 耕 平	副 管 理 者	酒 井 了
事 務 局 長	福 村 勲	事 務 局 次 長	守 行 英 樹
会 計 管 理 者	永 島 和 枝		
総 務 課 長	河 合 幸 代	環 境 技 術 課 長	太 田 健 一

午後1時30分開会

○南野敬介議長

ただいまより令和6年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を事務局から報告させます。

○事務局

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は14名でございます。

以上で報告を終わります。

○南野敬介議長

ただいまの報告のとおり、出席議員14名をもちまして会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の会議録署名者は、清掃施設組合議会会議規則第107条の規定により、私から、6番、反甫 旭議員、7番、友永 修議員を指名いたします。

次に、本定例会における議事説明員は、お手元にご配付しておりますとおりでありますので、ご報告いたします。

次に、令和6年4月分から9月分までの6か月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本件について、質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ないようですので、本報告を終わりといたします。

これより日程に入ります。

日程第1、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の1日にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は1日に決定いたしました。

次に、日程第2、報告第1号令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合継続費精算報告書の報告を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の報告第1号令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合継続費精算報告書の報告につきまして、ご報告を申し上げます。

本件につきましては、令和2年度から実施してまいりましたクリーンセンター大規模改修事業及び令和4年度から実施してまいりましたI T V装置更新工事が令和5年度で完了いたしましたので、地方自治法施行令第145条第2項の規定に基づき、継続費の精算の結果を議会にご報告申し上げる次第であります。

なお、報告書の詳細につきましては、事務局長から報告させますので、よろしく願います。

○南野敬介議長

次に、詳細説明を求めます。福村事務局長。

○福村 勲事務局長

それでは、詳細説明をさせていただきます。この精算報告書は、上段がクリーンセンター大規模改修事業、下段がI T V装置更新工事における工事請負費の継続費についてのものでございます。

まず、クリーンセンター大規模改修事業の表左側、全体計画としまして、期間は令和2年度から5年度の4か年で、年割額は、令和2年度が3億2千万円、令和3年度から5年度がそれぞれ1億6千万円、総額8億円で組まれております。

表中ほど、実績としまして、支払済額は、令和2年度は工事の前払金がなかったので支出がなく、令和3年度が1億4,265万円、令和4年度が4億3,346万2千円、令和5年度は1億6,575万円で、全体としては7億4,186万2千円の執行となりました。

次に、I T V装置更新工事の全体計画としまして、期間は令和4年度、5年度の2か年で、年割額は、令和4年度が5,880万円、令和5年度は8,820万円、総額1億4,700万円で組まれております。

実績としましては、こちら前払いの支払いがなかったため、令和4年度は支出がなく、令和5年度は1億3,970万円の執行となりました。

したがって、表右側、比較欄内、年割額と支出済額との差の計が、クリーンセンター大規模改修工事が5,813万8千円、I T V装置更新工事が730万円となり、不用額となっております。

説明は以上でございます。

○南野敬介議長

ただいまの説明につきまして、質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

質疑なしと認めます。

よって、本報告を終わります。

次に、日程第3、認定第1号令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の認定第1号令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるにつきまして、提案理由をご説明申し上げます。

令和5年度一般会計の決算につきましては、地方自治法第233条第2項の規定により、監査委員の方々にその内容についてご審査をお願いいたしましたところ、慎重なご審査を賜り、このたび審査意見をつけて議会の認定に付した次第であります。

令和5年度一般会計では、歳入決算額39億7,756万1,931円に対しまして、歳出決算額が39億4,246万9,806円でありましたので、歳入歳出差引額が3,509万2,125円となりました。決算内容につきましては、決算書のほか実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書を提出しておりますので、何とぞよろしくご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

なお、決算の詳細につきましては、事務局長か

ら説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○南野敬介議長

次に、詳細説明を求めます。福村事務局長。

○福村 勲事務局長

それでは、認定第1号令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計決算認定を求めるについての詳細説明をさせていただきます。

決算書の9ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書からご説明申し上げます。歳入総額39億7,756万1,931円に対しまして歳出総額39億4,246万9,806円で、歳入歳出差引額が3,509万2,125円となり、実質収支額は同額の3,509万2,125円となっております。

次に、歳入の詳細についてご説明申し上げます。

12ページ、13ページをお願いいたします。歳入につきましては、収入済額の欄を中心にご説明申し上げます。

まず第1款第1項分担金第1目組合市分担金の収入済額は15億2,549万5千円で、前年度と比べ1億6,644万4千円、12.2%の増加でございます。

両市の負担割合は、2割を均等割、8割を人口割で算出しておりますので、岸和田市65.44%、貝塚市34.56%となっております。この結果、13ページ備考欄に記載のとおり、岸和田市の分担金が9億9,828万3,928円、貝塚市の分担金が5億2,721万1,072円でございます。

次に、第2款使用料及び手数料の収入済額は3億7,257万5,630円で、前年度と比べ714万5,220円、1.9%の減少でございます。

第1項使用料第1目総務使用料で、主なものは備考欄に記載のとおり、附属洗車場使用料128万6,510円でございます。

次の第2項手数料第1目焼却手数料は廃棄物の焼却手数料で3億7,077万5,490円、対前年度比717万3,220円、1.9%の減少で、これは、前年度に比べ、ごみの搬入量が減少したことによるものでございます。

次に、第3款国庫支出金の収入済額は、ごみ処理施設基幹的設備改良事業費国庫補助金の2億

9,973万円でございます。

次に、第4款第1項第1目繰越金は9,291万1,088円で、前年度と比べ1,970万6,713円、26.9%の増加でございます。これは、クリーンセンター大規模改修事業の一般財源分の継続費通次繰越金188万8千円とI T V装置更新工事の一般財源分継続費通次繰越金5,880万円が繰り越されたことによるものでございます。

次に、第5款諸収入第1項第1目雑入の収入済額は6億5,135万213円で、前年度と比べ1億592万2,993円、19.4%の増加でございます。その主なものは、電力売払収入並びにペットボトル売払収入の増加によるものでございます。

次に、第6款第1項組合債第1目清掃施設整備事業債の収入済額は10億3,550万円で、前年度と比べ1億9,660万円、16%の減少でございます。その内訳は、右ページ備考欄の大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債950万円、ごみ処理施設増設事業債2億3,640万円、ごみ処理施設基幹的設備改良事業債6億4,050万円、クリーンセンター大規模改修事業債1億4,400万円、クリーンセンター大規模改修事業債（通次繰越）510万円でございます。

以上、合計は、最下段の歳入合計39億7,756万1,931円で、前年度と比べ1億221万1,486円の増加でございます。

続きまして、歳出の詳細についてご説明申し上げます。14、15ページをお願いいたします。

第1款第1項第1目議会費は、予算現額351万1千円に対し、支出済額が244万9,876円でございます。

次に、第2款総務費は、予算現額39億7,617万2千円に対し、支出済額が36億4,897万6,682円で、不用額は3億2,719万5,318円となります。

第1項総務費は、予算現額2億3,302万8千円に対し、支出済額2億1,002万7,606円、不用額2,300万394円でございます。

第1目総務管理費の主なものは、事業区分欄、職員給与費で1億8,784万9,336円と総務管理事業

1,121万7,422円でございます。

次に、16ページをお願いします。16ページの下段、第2目公平委員会費の支出済額6万5,100円と最下段の第3目監査委員費14万円は、主に委員報酬でございます。

次に、18ページをお願いします。18ページの第2項施設費は、予算現額37億4,314万4千円に対し、支出済額は34億3,894万9,076円で、不用額は3億419万4,924円となります。第1目施設管理費は、事業区分欄、施設管理運営事業11億7,818万5,540円は、クリーンセンターの運転管理に要する費用で、排ガス・排水の処理に必要な薬品類、設備の経年に伴い交換する消耗品や電気・上下水道料金などの需用費、焼却灰の運搬などの通信運搬費等の役務費、運転管理や焼却灰処分などの委託料でございます。

事業区分欄、次の大阪湾圏域広域処理場整備事業1,064万8千円は、フェニックス事業に係る建設委託費でございます。

次のクリーンセンター維持補修事業12億988万7,536円は、主に施設維持に要する定期点検整備工事、大規模改修工事、排水処理の水槽改修工事等に係る工事請負費と各工事に伴う原材料費でございます。

次の基幹的設備改良事業9億7,567万8千円は、令和元年度から5年間の債務負担行為として実施している基幹的設備改良工事の最終年度の執行分でございます。その主なものは、2号炉の過熱器・耐火物更新、レーザー式酸素濃度計の設置、排ガス再加熱器の蒸気調節弁の設置などでございます。

次に、20、21ページをお願いいたします。事業区分欄、クリーンセンター維持補修事業（通次繰越）6,455万円は、継続費で行っておりました、クリーンセンター大規模改修工事に係る令和4年度からの通次繰越分6,388万8千円から執行した575万円と、I T V装置更新工事に係る令和4年度からの通次繰越分5,880万円から全額を執行したものでございます。

次に、ページ中ほど、第3款公債費は、予算現額2億9,308万5千円に対しまして、支出済額が2億9,104万3,248円、不用額204万1,752円でございます。ごみ処理施設増設事業に係るもののほか、大阪湾圏域廃棄物埋立処分場に係るもの、基幹的設備改良事業に係るものなどの元金の償還金及び利子でございます。

次の第4款第1項第1目予備費の充用はございません。

以上、歳出合計は、予算現額42億7,576万8千円に対し、支出済額39億4,246万9,806円、不用額は3億3,329万8,194円となります。

不用額につきましては、19ページに戻っていただきまして、施設管理運営事業では、需用費5,354万2,596円、委託料9,932万8,040円、原材料費1,319万3,245円の不用額でございます。

需用費に関しましては、災害時などの緊急的な処理量増加に伴う薬品類、灯油、光熱水費の増加分を見込んでおりましたのと、入札による差金が生じたことによります不用額でございます。

委託費に関しましては、労働人口の減少や最低賃金の引上げなどが影響する運転管理業務委託等の人件費で、急激な高騰に対応する増加分を見込んでおりましたのと、入札による差金が生じたことによります不用額でございます。

原材料費に関しましては、緊急的に必要な場合に対応するため見込んでおりました原材料費の執行がなかったことによる不用額でございます。

クリーンセンター維持補修事業では、需用費1,834万5,924円、工事請負費2,581万7,000円、原材料費2,439万7,640円の不用額でございます。これは入札差金や事業内容の見直しなどによるものでございます。

21ページをお願いいたします。クリーンセンター維持補修事業（通次繰越）では、クリーンセンター大規模改修事業の工事請負費で5,813万8千円の不用額でございます。これは入札差金により生じたものでございます。

続きまして、24ページ、25ページをお願いいた

します。財産に関する調書でございます。公有財産としまして土地及び建物でございます。年度中の増減はございませんので、土地の面積14万2,337.09平方メートル、建物の延床面積が5万3,863.98平方メートル、前年度と変わりはありません。

次に、26ページをお願いいたします。重要物品調書でございます。取得価格50万円以上の物品を掲載しております。最下段、合計欄をお願いいたします。前年度末現在高1,746台に対し、決算年度中増減高が1,690台減少、決算年度末現在高が56台と大幅な減少となっております。

その理由としまして、令和4年度決算まで固定資産台帳に記載の資産を計上しておりましたが、その中にはクリーンセンター工場内の設備類が多数含まれておりました。このため、令和5年度決算より重要物品調書としてこれらの設備類を除外し、残った物品の確認を行い精査いたしました。これにより、取得価格50万円以上の物品の現在高合計といたしまして、前年度末から1,690台減少の56台となっております。

説明は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○南野敬介議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。前園議員。

○14番 前園隆博議員

12ページの使用料及び手数料というところで、焼却手数料、こちらは備考欄に廃棄物処分手数料ということで3億7,077万5,490円が計上されておりました。1.9%の減少ということをお聞きしました。こちら、利用者からカードを使えないということをお聞きいたしておりますが、これは全て現金という認識でよろしいでしょうか、お伺いします。

○南野敬介議長

河合総務課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

一般の搬入につきましては、現金による取扱いとなっております。収集運搬許可業者にはカードを発行しまして、後納払いの方法を取っております。

キャッシュレス払いによりますお問合せについては、年間たまにある程度でございますが、キャッシュレス導入に係る設備投資、また手数料、利用者の利便性など、費用対効果を踏まえて研究してまいります。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

それでは、過去検討して、やはりコストが高いということで現金のみということではよろしいでしょうか。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

詳細につきまして、検討はしておりませんが、手数料につきましても幾らかかかってくるということです。これから研究してまいりたいと思います。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

やはりコロナ以降、キャッシュレスの決済が増えておりまして、やはりそういった現金に対する抵抗もあると思いますので、ぜひとも検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。お伺いいたします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

また近隣の導入をされているところなどを研究して、検討してまいりたいと思います。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

それでは、次の14ページの歳出、まず総務費、総務管理費の中で、職員給与費についてお伺いいたします。こちらにつきましては不用額が出ておりますけれども、こちらの不用額の主な理由があれば教えてください。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

職員給与費の主な不用額につきましては、報酬、職員手当、共済費によるものでございます。報酬の中の会計年度任用職員報酬でございますが、こちらにつきましては388万3,103円の不用額があります。予算の積算時に会計年度任用職員4人で見積もっておりましたが、令和5年度の実績といたしましては3人の雇用であったため、不用額が生じております。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

当初4人で見積もっていて、会計年度任用職員ですけれども、これが3人でカバーできたというのか、どのようにカバーしたのか教えてください。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

令和5年度に正職の電気職の採用試験を行いました。これにより2人、令和6年の4月採用が決定したところですが、そのうちの1名を令和5年の10月から採用し、業務に就いたことから、業務に支障はございません。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

分かりました。続きまして、総務管理事業350万7,578円の不用額が出ておりますが、この理由を教えてください。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

まず、総務管理事業でございます。この中の主な不用額といたしましては、先ほど申し上げましたが、旅費の費用弁償のところにつきまして、会計年度任用職員の通勤費を計上しております。こちらにつきましても、人数の変更がございましたので不用額が出ております。

次に、役務費の通信運搬費でございます。こちらにつきましては、52万428円の不用額が出ておりますが、令和6年の4月からごみ処分手数料の改定がございましたので、こちらの周知チラシの発送につきまして、当初年間3回の発送で積算しておりましたが、この周知方法について、収集運搬許可業者と令和5年の6月に協議をした結果、令和5年の7月と令和6年の1月の年2回の発送による周知方法となったことから、通信運搬費、また委託料のその他の委託料で、チラシの封入封緘委託料が不用額となったものでございます。

主なものは以上でございます。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

この改定の周知が3回を2回に減らしたという理解をしたんですが、それで本当にカバー、ちゃんとできたんでしょうか。お伺いします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

発送直後、数件の問合せはございましたが、大きな混乱もなく、ご理解いただいているものと思えます。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

分かりました。続きまして、リサイクル啓発事

業につきまして、こちらも40万5,755円の不用額が出ておりますが、こちらの理由を教えてください。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

リサイクル啓発事業の不用額につきましては、需用費の消耗品費と印刷製本費が主なものとなっております。消耗品費につきましては、小学校の社会見学等で記念品として配っている定規や3Rフェアでの消耗品を購入しておりますが、予算の積算時以降、数の精査や見積り合わせによる単価が減少したことによる不用額でございます。

印刷製本費につきましても、3Rフェアのチラシやポスターの印刷になっておりますが、こちらも見積徴取等により単価が減少したことによる不用額でございます。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

努力してこういった不用額を生んだという認識でよろしいでしょうか、お伺いします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

見積徴取をきっちりやっておりますので、その結果になったかと思えます。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

分かりました。それでは最後の質問ですが、情報公開・個人情報保護事業がございましたが、こちらを全く支出されておらず、全てが不用額となっておりますが、理由をお伺いいたします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

お答えします。

情報公開請求や個人情報の開示請求等に係り審査を開く案件がございませんでしたので、不用額となっております。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

これは現在、今年には実施されているのでしょうか、お伺いいたします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

令和6年度現在も実施はございません。

○南野敬介議長

前園議員。

○14番 前園隆博議員

これは今後も予定はないということでしょうか、お伺いいたします。

○南野敬介議長

河合課長。

○河合幸代総務課長

案件がございましたら開催の予定でございます。

○南野敬介議長

ほかにご覧いませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

質疑が終わったものと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

討論なしと認めます。

これより認定第1号を採決いたします。

本決算は、これを認定することに決しましてご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ご異議なしと認めます。よって、令和5年度決算は認定されました。

次に、日程第4、議案第7号岸和田市貝塚市ク

リーンセンターリサイクル棟大規模改修工事請負契約の締結についてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第7号岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事請負契約の締結について提案理由のご説明を申し上げます。

本件は、岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事を実施しようとするものであり、条件付一般競争入札により業者選定を実施した結果、ヒデイ建設株式会社が3億8,180万2,300円で落札いたしましたので、同社と工事請負契約を締結しようとするものであります。何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願いいたします。

なお、詳細につきましては、事務局長に説明させていただきますので、よろしくお伺いいたします。

○南野敬介議長

次に、詳細説明を求めます。福村事務局長。

○福村 勲事務局長

それでは、議案第7号岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事請負契約の概要についてご説明させていただきます。

当クリーンセンターのリサイクル棟は年間を通して資源ごみや粗大ごみを受入れし、リサイクルしている建物でございます。中でも粗大ごみを細かく砕く破砕機やビン選別機などが稼働している運転中は、機械が振動します。その影響を受け、建物全体が微振動している特殊な施設となります。

施設の延命化のために策定した、長寿命化総合計画に設備や機器の更新がうたわれており、それらを保護する建物も適切に維持や保全を行うことが、施設全体の長寿命化に求められている重要な要素でございます。

施設全体が臨海部に位置しまして、竣工後17年が経過して、年間を通しての稼働による建物の老朽化はもとより、強風や塩害による立地条件の影

響を多大に受け、建物の中でも外壁、鉄部などの劣化が著しいため建屋外壁等の大規模改修工事を行おうとするものでございます。

なお、焼却棟の大規模改修工事は令和5年度に竣工しております。

業者選定につきましては、条件付一般競争入札で入札を行い、その結果、3億8,180万2,300円でヒデイ建設株式会社が落札者となり、同社と工事請負契約を締結しようとするものであります。

以上が工事請負契約に至る説明でございます。何とぞよろしくお願いいたします。

○南野敬介議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

討論なしと認めます。

これより議案第7号を採決いたします。

本件は、原案のとおり可とすることに決しましてご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、日程第5、議案第8号令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第8号令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）につきまして、提案理由をご説明申し上げます。今回提案させていただく補正予算につきまして

は、歳出の補正はございませんが、令和6年度定期点検整備工事において新たに起債対象となるものを起債として、第5款第1項組合債に4,320万円追加し、第1款第1項分担金を同額減額しようとするものでございます。

なお、詳細につきましては、事務局長から説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

○南野敬介議長

次に、詳細説明を求めます。福村事務局長。

○福村 勲事務局長

それでは、議案第8号補正予算（第1号）の詳細について説明させていただきます。

議案書別冊の補正予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。

歳出、第2款総務費第2項施設費第1目施設管理費でございます。予算額に変わりはありませんが、今年度を実施しています定期点検整備工事におきまして、工事費で新たに追加起債が可能となったことから、財源内訳を一般財源から地方債へと4,320万円変更しようとするものでございます。

次に、補正予算書の8ページ、9ページをお願いいたします。

先ほどご説明いたしました定期点検整備工事において、新たに起債可能となった工事費について、2次起債申請をすることとなったことから、第5款第1項組合債第1目清掃施設整備事業債に4,320万円を追加し、第1款第1項分担金第1目組合市分担金を同額減額しようとするものでございます。

次に、補正予算書4ページをお願いいたします。

地方債4,320万円が追加となるため、地方債の限度額を2億7,580万円から3億1,900万円に変更してございます。

補正予算の説明は以上でございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

○南野敬介議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○南野敬介議長

討論なしと認めます。

これより議案第8号を採決いたします。

本件は、原案のとおり可とすることに決しましてご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○南野敬介議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件に対しまして、慎重なるご審議賜り、厚く御礼を申し上げます。

これをもちまして、令和6年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

午後2時10分閉会

上記会議録の正確なるを証するため、ここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議 長 南 野 敬 介	
同 議 員 反 甫 旭	
同 議 員 友 永 修	

令和6年第3回組合議会定例会議案

議案番号	件名	頁
報告第1号	令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合継続費精算報告書の報告について	
認定第1号	令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて	別冊
議案第7号	岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事請負契約の締結について	
議案第8号	令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算(第1号)	別冊

岸和田市貝塚市清掃施設組合



報告第 1 号

令和 5 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合  
継続費精算報告書の報告について

令和 5 年度で継続年度が終了した事業について、地方自治法施行令第 145 条  
第 2 項の規定により継続費精算報告書を別紙のとおり報告する。

令和 6 年 11 月 20 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
管理者 永野 耕平

令和5年度岸和田市貝塚市清掃施設組合継続費精算報告書

款	項	事業名	年度	全体計画					実績					比較							
				年割額	左の財源内訳				支出済額	左の財源内訳				年割額と 支出済額の 差	左の財源内訳						
					特定財源					一般財源	特定財源				一般財源	特定財源				一般財源	
					国支出	庫金	府支出金	地方債			その他	国支出	庫金			府支出金	地方債	その他	国支出		庫金
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円				
02	02	クリーンセンター大規模改修事業	2	320,000,000			288,000,000	32,000,000	0				0	320,000,000	0	0	288,000,000	0	32,000,000		
			3	160,000,000			144,000,000	16,000,000	142,650,000			128,300,000	14,350,000	17,350,000	0	0	15,700,000	0	1,650,000		
			4	160,000,000			144,000,000	16,000,000	433,462,000			385,700,000	47,762,000	△ 273,462,000	0	0	△ 241,700,000	0	△ 31,762,000		
			5	160,000,000			144,000,000	16,000,000	165,750,000			149,100,000	16,650,000	△ 5,750,000	0	0	△ 5,100,000	0	△ 650,000		
			計	800,000,000	0	0	720,000,000	80,000,000	741,862,000	0	0	663,100,000	78,762,000	58,138,000	0	0	56,900,000	0	1,238,000		
			02	02	ITV装置更新工事	4	58,800,000			58,800,000	0			0	58,800,000	0	0	0	0	58,800,000	
02	02	ITV装置更新工事	5	88,200,000			88,200,000	139,700,000				139,700,000	△ 51,500,000	0	0	0	0	△ 51,500,000			
			計	147,000,000	0	0	0	147,000,000	139,700,000	0	0	0	139,700,000	7,300,000	0	0	0	7,300,000			

## 認定第 1 号

### 令和 5 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて

令和 5 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の決算は、別紙のとおり監査委員の審査を経たので、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により議会の認定を求める。

令和 6 年 11 月 20 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
管 理 者 永 野 耕 平



令和5年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合決算書



目 次

一般会計歳入歳出決算書	-----	1
実質収支に関する調書	-----	7
歳入歳出決算事項別明細書	-----	11
財産に関する調書	-----	23



一般会計歳入歳出決算書

## 令和5年度一般会計歳入歳出決算書

### 歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額
1. 分担金		2,197,895,000	1,525,495,000
	1. 分担金	2,197,895,000	1,525,495,000
2. 使用料及び手数料		335,664,000	372,575,630
	1. 使用料	1,471,000	1,800,140
	2. 手数料	334,193,000	370,775,490
3. 国庫支出金		300,389,000	299,730,000
	1. 国庫補助金	300,389,000	299,730,000
4. 繰越金		60,689,000	92,911,088
	1. 繰越金	60,689,000	92,911,088
5. 諸収入		283,231,000	651,350,213
	1. 雑入	283,231,000	651,350,213
6. 組合債		1,097,900,000	1,035,500,000
	1. 組合債	1,097,900,000	1,035,500,000
歳 入 合 計		4,275,768,000	3,977,561,931

(単位：円)

収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
1,525,495,000	0	0	△672,400,000
1,525,495,000	0	0	△672,400,000
372,575,630	0	0	36,911,630
1,800,140	0	0	329,140
370,775,490	0	0	36,582,490
299,730,000	0	0	△659,000
299,730,000	0	0	△659,000
92,911,088	0	0	32,222,088
92,911,088	0	0	32,222,088
651,350,213	0	0	368,119,213
651,350,213	0	0	368,119,213
1,035,500,000	0	0	△62,400,000
1,035,500,000	0	0	△62,400,000
3,977,561,931	0	0	△298,206,069

## 歳 出

款	項	予 算 現 額
1. 議会費		3,511,000
	1. 議会費	3,511,000
2. 総務費		3,976,172,000
	1. 総務費	233,028,000
	2. 施設費	3,743,144,000
3. 公債費		293,085,000
	1. 公債費	293,085,000
4. 予備費		3,000,000
	1. 予備費	3,000,000
歳 出 合 計		4,275,768,000

歳入歳出差引残額

35,092,125 円

(単位：円)

支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
2,449,876	0	1,061,124	1,061,124
2,449,876	0	1,061,124	1,061,124
3,648,976,682	0	327,195,318	327,195,318
210,027,606	0	23,000,394	23,000,394
3,438,949,076	0	304,194,924	304,194,924
291,043,248	0	2,041,752	2,041,752
291,043,248	0	2,041,752	2,041,752
0	0	3,000,000	3,000,000
0	0	3,000,000	3,000,000
3,942,469,806	0	333,298,194	333,298,194

令和6年11月20日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 永野 耕平



実 質 収 支 に 関 す る 調 書



実質収支に関する調書

(単位:円)

区 分		金 額	
1.	歳 入 総 額	3,977,561,931	
2.	歳 出 総 額	3,942,469,806	
3.	歳 入 歳 出 差 引 額	35,092,125	
4.	翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	(1) 継 続 費 遡 次 繰 越 額	0
		(2) 繰 越 明 許 費 繰 越 額	0
		(3) 事 故 繰 越 し 繰 越 額	0
		計	0
5.	実 質 収 支 額	35,092,125	
6.	実質収支額のうち地方自治法第233条 の2の規定による基金繰入額	0	



歲入歲出決算事項別明細書

# 歳入

(款) 分担金  
(項) 分担金

## 令和5年度一般会計歳入歳出決算事項別明細書

款 項 目	予 算 現 額					節	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充当額	計	区 分		
					区 分	金 額	
1. 分担金	2,337,395,000	△139,500,000	0	2,197,895,000			
1. 分担金	2,337,395,000	△139,500,000	0	2,197,895,000			
1. 組合市分担金	2,337,395,000	△139,500,000	0	2,197,895,000	1. 組合市分担金	2,197,895,000	
2. 使用料及び手数料	335,664,000	0	0	335,664,000			
1. 使用料	1,471,000	0	0	1,471,000			
1. 総務使用料	1,471,000	0	0	1,471,000	1. 土地使用料	466,000	
					2. 施設使用料	1,005,000	
2. 手数料	334,193,000	0	0	334,193,000			
1. 焼却手数料	334,193,000	0	0	334,193,000	1. 廃棄物手数料	334,193,000	
3. 国庫支出金	300,389,000	0	0	300,389,000			
1. 国庫補助金	300,389,000	0	0	300,389,000			
1. ごみ処理施設基 幹の設備改良事 業費国庫補助金	300,389,000	0	0	300,389,000	1. ごみ処理施設基 幹の設備改良事 業費補助金	300,389,000	
4. 繰越金	1,000	0	60,688,000	60,689,000			
1. 繰越金	1,000	0	60,688,000	60,689,000			
1. 繰越金	1,000	0	60,688,000	60,689,000	1. 繰越金	60,689,000	
5. 諸収入	283,231,000	0	0	283,231,000			
1. 雑入	283,231,000	0	0	283,231,000			
1. 雑入	283,231,000	0	0	283,231,000	1. 雑入	283,231,000	
6. 組合債	896,400,000	139,500,000	62,000,000	1,097,900,000			
1. 組合債	896,400,000	139,500,000	62,000,000	1,097,900,000			
1. 清掃施設整備事 業債	896,400,000	139,500,000	62,000,000	1,097,900,000	1. 清掃施設整備事 業債	1,097,900,000	
歳入合計	4,153,080,000	0	122,688,000	4,275,768,000			

(単位：円)

調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	備 考
1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	
1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	
1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	
1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	岸和田市分担金 998,283,928 貝塚市分担金 527,211,072
372,575,630	372,575,630	0	0	
1,800,140	1,800,140	0	0	
1,800,140	1,800,140	0	0	
513,630	513,630	0	0	電柱埋設地等使用料 513,630
1,286,510	1,286,510	0	0	附属洗車場使用料 1,286,510
370,775,490	370,775,490	0	0	
370,775,490	370,775,490	0	0	
370,775,490	370,775,490	0	0	廃棄物処分手数料 370,775,490
299,730,000	299,730,000	0	0	
299,730,000	299,730,000	0	0	
299,730,000	299,730,000	0	0	
299,730,000	299,730,000	0	0	ごみ処理施設基幹的設備改良事業費補助金 299,730,000
92,911,088	92,911,088	0	0	
92,911,088	92,911,088	0	0	
92,911,088	92,911,088	0	0	
92,911,088	92,911,088	0	0	前年度繰越金 32,223,088 前年度繰越金（通次繰越） 60,688,000
651,350,213	651,350,213	0	0	
651,350,213	651,350,213	0	0	
651,350,213	651,350,213	0	0	
651,350,213	651,350,213	0	0	金属類等売払収入 103,995,690 電力売払収入 503,178,157 その他雑収入 1,023,540 再商品化合理化拠出金 43,152,826
1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	
1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	
1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	
1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債 9,500,000 ごみ処理施設増設事業債 236,400,000 ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 640,500,000 クリーンセンター大規模改修事業債 144,000,000 クリーンセンター大規模改修事業債（通次繰越） 5,100,000
3,977,561,931	3,977,561,931	0	0	

# 歳出

(款) 1. 議会費

(項) 1. 議会費

(目) 1. 議会費

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
1. 議会費	3,511,000	0	0	0	3,511,000		
1. 議会費	3,511,000	0	0	0	3,511,000		
1. 議会費	3,511,000	0	0	0	3,511,000		
						00000001	2,437,000
						議員報酬等	
						1. 報酬	1,716,000
						3. 職員手当等	721,000
						00000002	1,074,000
						議会運営事業	
						8. 旅費	685,000
						9. 交際費	30,000
						10. 需用費	204,000
						11. 役務費	150,000
						17. 備品購入費	5,000
2. 総務費	3,853,484,000	0	122,688,000	0	3,976,172,000		
1. 総務費	233,028,000	0	0	0	233,028,000		
1. 総務管理 費	232,801,000	0	0	0	232,801,000		
						00000003	205,972,000
						職員給与費	
						1. 報酬	12,539,000
						2. 給料	91,654,000
						3. 職員手当等	66,667,000
						4. 共済費	35,088,000
						18. 負担金補助 及び交付金	24,000
						00000004	14,725,000
						総務管理事業	
						7. 報償費	15,000
						8. 旅費	1,622,000
						9. 交際費	20,000

(単位：円)

支出済額	翌年度 繰越額	不用額	備 考
2,449,876	0	1,061,124	
2,449,876	0	1,061,124	
2,449,876	0	1,061,124	
2,175,290	0	261,710	
1,700,000	0	16,000	議員報酬 1,700,000
475,290	0	245,710	議員期末手当 475,290
274,586	0	799,414	
0	0	685,000	
0	0	30,000	
135,986	0	68,014	消耗品費 3,986 印刷製本費 132,000
138,600	0	11,400	筆耕翻訳料 138,600
0	0	5,000	
3,648,976,682	0	327,195,318	
210,027,606	0	23,000,394	
209,822,506	0	22,978,494	
187,849,336	0	18,122,664	
8,461,443	0	4,077,557	特別職報酬 300,000 会計年度任用職員報酬 8,127,897 会計年度任用職員超過勤務報酬 33,546
87,780,300	0	3,873,700	一般職給 87,780,300
60,272,565	0	6,394,435	扶養手当 1,974,000 管理職手当 4,800,000 地域手当 5,673,258 住居手当 1,793,000 超過勤務手当 1,648,421 特殊勤務手当 168,140 通勤手当 3,122,400 期末勤勉手当 38,586,804 児童手当 1,050,000 会計年度任用職員期末手当 1,456,542
31,311,028	0	3,776,972	健康保険組合負担金 100,075 職員共済組合等負担金 30,571,472 公務災害補償負担金 639,481
24,000	0	0	負担金 24,000
11,217,422	0	3,507,578	
1,040	0	13,960	報償費 1,040
440,000	0	1,182,000	費用弁償 341,860 普通旅費 98,140
0	0	20,000	

## (款) 2. 総務費

## (項) 1. 総務費

## (目) 1. 総務管理費

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
						10. 需用費	2,735,000
						11. 役務費	7,304,000
						12. 委託料	882,000
						13. 使用料及び 賃借料	1,138,000
						17. 備品購入費	150,000
						18. 負担金補助 及び交付金	859,000
						00000008 リサイクル啓発事 業	1,228,000
						10. 需用費	713,000
						12. 委託料	385,000
						13. 使用料及び 賃借料	90,000
						15. 原材料費	40,000
						00000009 情報公開・個人情 報保護事業	74,000
						1. 報酬	54,000
						8. 旅費	20,000
						00000010 電算システム運用 事業	10,802,000
						11. 役務費	15,000
						12. 委託料	8,320,000
						13. 使用料及び 賃借料	2,467,000
2. 公平委員 会費	73,000	0	0	0	73,000		
						00000011 委員報酬	63,000
						1. 報酬	63,000
						00000012 公平委員会事業	10,000
						8. 旅費	10,000
3. 監査委員 費	154,000	0	0	0	154,000		

(単位：円)

支出済額	翌年度 繰越額	不用額	備 考
2,034,576	0	700,424	消耗品費 862,406 燃料費 325,929 印刷製本費 708,457 光熱水費 137,784
6,277,478	0	1,026,522	通信運搬費 1,580,572 手数料 695,656 保険料 4,001,250
736,425	0	145,575	その他の委託料 736,425
928,253	0	209,747	その他の使用料及び賃借料 928,253
26,180	0	123,820	図書購入費 26,180
773,470	0	85,530	負担金 473,470 補助金 300,000
822,245	0	405,755	
456,495	0	256,505	消耗品費 396,105 印刷製本費 60,390
323,950	0	61,050	その他の委託料 323,950
41,800	0	48,200	その他の使用料及び賃借料 41,800
0	0	40,000	
0	0	74,000	
0	0	54,000	
0	0	20,000	
9,933,503	0	868,497	
13,200	0	1,800	手数料 13,200
7,620,627	0	699,373	その他の委託料 7,620,627
2,299,676	0	167,324	その他の使用料及び賃借料 2,299,676
65,100	0	7,900	
63,000	0	0	
63,000	0	0	委員報酬 63,000
2,100	0	7,900	
2,100	0	7,900	費用弁償 2,100
140,000	0	14,000	

## (款) 2. 総務費

## (項) 1. 総務費

## (目) 3. 監査委員費

款 項 目	予 算 現 額						事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節		
						区 分	金 額	
						00000013	144,000	
						委員報酬		
						1. 報酬	144,000	
						00000014	10,000	
						監査事業		
						8. 旅費	10,000	
2. 施設費	3,620,456,000	0	122,688,000	0	3,743,144,000			
1. 施設管理費	3,620,456,000	0	122,688,000	0	3,743,144,000			
						00000015	1,351,943,000	
						施設管理運営事業		
						7. 報償費	72,000	
						8. 旅費	40,000	
						10. 需用費	341,011,000	
						11. 役務費	24,715,000	
						12. 委託料	951,085,000	
						13. 使用料及び 賃借料	53,000	
						15. 原材料費	32,887,000	
						17. 備品購入費	1,751,000	
						18. 負担金補助 及び交付金	50,000	
						26. 公課費	279,000	
						00000016	12,280,000	
						大阪湾圏域広域処 理場整備事業		
						12. 委託料	12,280,000	
						00000017	1,280,555,000	
						クリーンセンター 維持補修事業		
						10. 需用費	126,915,000	
						12. 委託料	13,053,000	
						14. 工事請負費	884,378,000	
						15. 原材料費	256,209,000	
						00000019	975,678,000	
						基幹の設備改良事 業		
						12. 委託料	17,539,000	
						14. 工事請負費	958,139,000	

(単位：円)

支出済額	翌年度 繰越額	不用額	備 考
140,000	0	4,000	
140,000	0	4,000	委員報酬 140,000
0	0	10,000	
0	0	10,000	
3,438,949,076	0	304,194,924	
3,438,949,076	0	304,194,924	
1,178,185,540	0	173,757,460	
0	0	72,000	
0	0	40,000	
287,468,404	0	53,542,596	消耗品費 204,597,879 燃料費 13,195,200 印刷製本費 74,800 光熱水費 69,600,525
18,099,746	0	6,615,254	通信運搬費 15,863,809 手数料 2,210,597 保険料 25,340
851,756,960	0	99,328,040	施設維持業務委託料 851,756,960
0	0	53,000	
19,693,755	0	13,193,245	原材料費 19,693,755
869,375	0	881,625	庁用器具費 66,086 機械器具費 797,789 図書購入費 5,500
31,500	0	18,500	負担金 31,500
265,800	0	13,200	公課費 265,800
10,648,000	0	1,632,000	
10,648,000	0	1,632,000	その他の委託料 10,648,000
1,209,887,536	0	70,667,464	
108,569,076	0	18,345,924	修繕料 108,569,076
10,946,100	0	2,106,900	その他の委託料 10,946,100
858,561,000	0	25,817,000	工事費 858,561,000
231,811,360	0	24,397,640	原材料費 231,811,360
975,678,000	0	0	
17,539,000	0	0	その他の委託料 17,539,000
958,139,000	0	0	工事費 958,139,000

## (款) 2. 総務費

## (項) 2. 施設費

## (目) 1. 施設管理費

款 項 目	予 算 現 額						事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節		
						区 分	金 額	
						00000031 クリーンセンター 維持補修事業（通 次繰越）	122,688,000	
						14. 工事請負費	122,688,000	
3. 公債費	293,085,000	0	0	0	293,085,000			
1. 公債費	293,085,000	0	0	0	293,085,000			
1. 元金	278,149,000	0	0	3,146,948	281,295,948			
						00000022 長期債元金償還事 業	281,295,948	
						22. 償還金利子 及び割引料	281,295,948	
2. 利子	14,936,000	0	0	△3,146,948	11,789,052			
						00000023 長期債利子償還事 業	11,789,052	
						22. 償還金利子 及び割引料	11,789,052	
4. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000			
1. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000			
1. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000			
歳 出 合 計	4,153,080,000	0	122,688,000	0	4,275,768,000			

(単位：円)

支出済額	翌年度 繰越額	不用額	備 考
64,550,000	0	58,138,000	
64,550,000	0	58,138,000	工事費 64,550,000
291,043,248	0	2,041,752	
291,043,248	0	2,041,752	
281,295,948	0	0	
281,295,948	0	0	
281,295,948	0	0	償還金 281,295,948
9,747,300	0	2,041,752	
9,747,300	0	2,041,752	
9,747,300	0	2,041,752	利子及び割引料 9,747,300
0	0	3,000,000	
0	0	3,000,000	
0	0	3,000,000	
3,942,469,806	0	333,298,194	



財 産 に 関 す る 調 書

# 1. 公用財産

## (1) 土地及び建物

区 分		土 地(地 積)			建	
					木 造	
		前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高
行 政 財 産	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	m <sup>2</sup> 89,999.00	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 89,999.00	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	旧 清 掃 工 場	10,834.66		10,834.66		
	小湊川側進入道路	935.38		935.38		
	久保側進入道路	1,277.05		1,277.05		
	埋 立 用 地	39,291.00		39,291.00		
合 計		142,337.09		142,337.09		

物						
(延面積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計		
決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
m <sup>2</sup>						
	53,799.98		53,799.98	53,799.98		53,799.98
	64.00		64.00	64.00		64.00
	53,863.98		53,863.98	53,863.98		53,863.98

## 2.重要物品調書

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机 ・ 卓 子 類	6 <sup>台</sup>	△ 5 <sup>台</sup>	1 <sup>台</sup>
い す 類	3	0	3
箱 類	1	0	1
事務用機械器具類	12	△ 8	4
計 器 類	35	△ 32	3
機 械 類	1,631	△ 1,626	5
工 具 類	22	△ 10	12
車 両 類	12	0	12
標 本 模 型 類	10	△ 1	9
雑 具 類	14	△ 8	6
合 計	1,746	△ 1,690	56





令和5年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
決算審査意見書

岸和田市貝塚市清掃施設組合監査委員



## 目 次

第1	審査の対象	-----	1
第2	審査の期間	-----	1
第3	審査の方法	-----	1
第4	審査の結果	-----	1
第5	総括意見	-----	1
1.	決算の概要	-----	1
2.	総括意見	-----	2
第6	審査の概況	-----	3
1.	一般会計	-----	3
(1)	決算状況	-----	3
(2)	歳入	-----	4
(3)	歳出	-----	8
2.	財産	-----	12
(1)	公有財産	-----	12
(2)	重要物品	-----	13

### 注記

- 1 千円単位で表示した金額は百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、小数点第2位を四捨五入した。そのため小計又は合計が内訳と一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は次のとおりである。
  - 「0.0」----- 該当数値はあるが単位未満のもの
  - 「-」----- 該当数値がないもの
  - 「△」----- マイナスのもの



## 令和5年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和5年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和6年7月24日から令和6年9月26日まで

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、一般会計歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの書類の計数は関係諸帳簿、証書類と一致しているかを照査したほか、必要に応じ関係職員の説明を聴取して審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と符合し、その計数は正確であり、予算の執行についてもおおむね適正に運用されているものと認められた。

なお、一般会計の概要及び意見については、以下に述べるとおりである。

### 第5 総括意見

#### 1. 決算の概要

令和5年度の一般会計決算額は歳入3,977,562千円(対前年度比2.6%増)、歳出3,942,470千円(同4.2%増)で歳入歳出差引額の形式収支及び実質収支は35,092千円となっている。

歳入の増減をみると前年度に比べ分担金で166,444千円(12.2%)、国庫支出金で13,883千円(4.9%)、繰越金で19,707千円(26.9%)、諸収入で105,923千円(19.4%)増加し、使用料及び手数料で7,145千円(1.9%)、組合債で196,600千円(16.0%)減少している。

歳出においては、総務費で28,378千円(0.8%)、公債費で131,723千円(82.7%)増加し、議会費で70千円(2.8%)減少となっており、性質別にみると、義務的経費で136,277千円(39.5%)、その他経費で204,496千円(11.1%)増加し、投資的経費で180,743千円(11.3%)減少している。この結果、歳出に占める割合は、義務的経費12.2%、投資的経費35.9%、その他経費51.9%となっている。

決算規模については前年度に比べ増加となっているが、これは主に維持補修費、起債の償還額が増加したことによるものである。

## 2. 総括意見

歳入については使用料及び手数料でごみの搬入量が減少したことにより廃棄物処分手数料は前年度比 7,173 千円(1.9%)減少している。また、クリーンセンター大規模改修事業の事業費の減少に伴い、起債の借入額も減少となっている。諸収入では、金属類等売払収入が前年度比 41,726 千円(28.6%)減少となるも、電力売払収入が単価の上昇により前年度比 145,445 千円(40.7%)、ペットボトル売払収入が搬出量の増加により前年度比 2,227 千円(5.4%)とそれぞれ増加となっている。

手数料や売払収入などの自主財源は、社会経済情勢によって大きく左右されるところであるが、今後も情報収集・分析や創意工夫により、安定した財源の確保に努めることが重要である。

一方、歳出について節別にみると、需用費が前年度比 43,676 千円(12.3%)、原材料費が前年度比 69,135 千円(37.9%)、償還金利子及び割引料が前年度比 131,723 千円(82.7%)増加し、工事請負費が前年度比 129,951 千円(6.5%)減少している。

起債の償還については、岸和田市貝塚市クリーンセンター建設に係る起債の償還が令和3年度をもって終了し、一時的に減少したが、当年度より基幹的設備改良事業に係る起債分が増加している。施設の長寿命化を図るため令和元年度から取り組んできた基幹的設備改良事業や継続費であるクリーンセンター大規模改修事業は令和5年度で終了となったが、これらに係る起債の償還が令和6年度以降増加していく。また、施設の経年劣化に対する改修や維持補修の経費は今後も増加していくと考えられる。

組合においては、クリーンセンターの安定した運営を堅持しつつ、「最少の経費で最大の効果」の実現に向け、歳出抑制への積極的な取り組みや、起債の活用による歳出の平準化、国庫補助金関連の情報収集に努めるとともに自主財源の確保に引き続き努められたい。

また、一般廃棄物行政全般に係る課題については、必要に応じ岸和田市・貝塚市と連携を図り、一般廃棄物中間処理事業の安心・安全かつ円滑な遂行に十分配慮され、快適な市民生活のための環境保持に寄与されるよう切に望むものである。

## 第6 審査の概況

### 1. 一般会計

#### (1) 決算状況

(単位：円)

歳入歳出予算現額	4,275,768,000
歳入決算額	3,977,561,931
歳出決算額	3,942,469,806
歳入歳出差引残額	35,092,125

当年度の決算状況は、予算現額 4,275,768 千円に対し、歳入 3,977,562 千円(対前年度比 2.6%増)、歳出 3,942,470 千円(同 4.2%増)で、歳入歳出差引額の形式収支及び実質収支は 35,092 千円で、単年度収支は 2,869 千円となっている。

過去5年間における決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分 年度	決 算 額		形式収支	翌年度へ繰り越 すべき財源(D)	実質収支 (C) - (D)	単年度収支 (当該年度実質収支 - 前年度実質収支)
	歳入 (A)	歳出 (B)	(A) - (B) = (C)			
5	3,977,561,931	3,942,469,806	35,092,125	0	35,092,125	2,869,037
4	3,875,350,445	3,782,439,357	92,911,088	60,688,000	32,223,088	△316,287
3	3,625,723,405	3,552,519,030	73,204,375	40,665,000	32,539,375	△2,643,865
2	4,294,241,222	4,227,057,982	67,183,240	32,000,000	35,183,240	2,776,732
元	4,112,192,607	4,079,786,099	32,406,508	0	32,406,508	△7,641,986

## (2)歳入

(単位：円)

	5年度	4年度
予算現額	4,275,768,000	4,172,649,000
調定額	3,977,561,931	3,875,350,445
収入済額	3,977,561,931	3,875,350,445
不納欠損額	0	0
収入未済額	0	0

当年度の歳入は、予算現額 4,275,768 千円に対し、調定額、収入済額ともに 3,977,562 千円となり、前年度に比べ 102,211 千円(2.6%)増加している。

増加したものは、分担金で 166,444 千円(12.2%)、国庫支出金で 13,883 千円(4.9%)、繰越金で 19,707 千円(26.9%)、諸収入で 105,923 千円(19.4%)である。

減少したものは、使用料及び手数料で 7,145 千円(1.9%)、組合債で 196,600 千円(16.0%)である。

財源別では、自主財源は 2,642,332 千円(構成比 66.4%)で、前年度に比べ 284,928 千円(12.1%)増加し、依存財源は 1,335,230 千円(構成比 33.6%)で、こちらは前年度に比べ 182,717 千円(12.0%)減少している。

款別歳入決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	5年度			収入率		構成 比率	4年度	構成 比率
	予算現額	調定額	収入済額	対予算現額	対調定額		収入済額	
分担金	2,197,895,000	1,525,495,000	1,525,495,000	69.4	100.0	38.4	1,359,051,000	35.1
使用料及び 手数料	335,664,000	372,575,630	372,575,630	111.0	100.0	9.4	379,720,850	9.8
国庫 支出金	300,389,000	299,730,000	299,730,000	99.8	100.0	7.5	285,847,000	7.4
繰越金	60,689,000	92,911,088	92,911,088	153.1	100.0	2.3	73,204,375	1.9
諸収入	283,231,000	651,350,213	651,350,213	230.0	100.0	16.4	545,427,220	14.1
組合債	1,097,900,000	1,035,500,000	1,035,500,000	94.3	100.0	26.0	1,232,100,000	31.8
計	4,275,768,000	3,977,561,931	3,977,561,931	93.0	100.0	100.0	3,875,350,445	100.0

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

### 第1款 分担金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	2,197,895,000	1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	△672,400,000	100.0
4	1,896,051,000	1,359,051,000	1,359,051,000	0	0	△537,000,000	100.0
増減	301,844,000	166,444,000	166,444,000	0	0	△135,400,000	

予算現額 2,197,895 千円に対し、調定額、収入済額ともに 1,525,495 千円となり、前年度に比べ 166,444 千円(12.2%)増加している。

収入済額の内訳は、岸和田市分担金 998,284 千円、貝塚市分担金 527,211 千円である。

分担金の決算額は、歳出から他の歳入を差し引いた額により決定するものであり、主に歳入では、金属類等売払収入などの自主財源や国庫補助金の確保に努め、歳出では、維持補修費においての入札差金の発生、クリーンセンター運転管理委託料をはじめ運営経費の精査などにより費用減少したことによって、予算現額に対し 672,400 千円の減少となっている。

### 第2款 使用料及び手数料

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	335,664,000	372,575,630	372,575,630	0	0	36,911,630	100.0
4	349,067,000	379,720,850	379,720,850	0	0	30,653,850	100.0
増減	△13,403,000	△7,145,220	△7,145,220	0	0	6,257,780	

予算現額 335,664 千円に対し、調定額、収入済額ともに 372,576 千円となり、前年度に比べ 7,145 千円(1.9%)減少している。

これは、ごみの搬入量が令和4年度に比べ減少したことによるものである。

収入済額の内訳は、使用料 1,800 千円、手数料 370,775 千円である。

### 第3款 国庫支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	300,389,000	299,730,000	299,730,000	0	0	△659,000	100.0
4	285,847,000	285,847,000	285,847,000	0	0	0	100.0
増減	14,542,000	13,883,000	13,883,000	0	0	△659,000	

予算現額 300,389 千円に対し、収入済額が 299,730 千円となり、前年度に比べ 13,883 千円 (4.9%) 増加している。これは、基幹的設備改良事業に対する国庫支出金である。

### 第4款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	60,689,000	92,911,088	92,911,088	0	0	32,222,088	100.0
4	40,666,000	73,204,375	73,204,375	0	0	32,538,375	100.0
増減	20,023,000	19,706,713	19,706,713	0	0	△316,287	

予算現額 60,689 千円に対し、調定額、収入済額ともに 92,911 千円となり、前年度に比べ 19,707 千円 (26.9%) 増加している。

これは、主にクリーンセンター大規模改修事業の継続費通次繰越金 1,888 千円と I T V 装置更新工事の継続費通次繰越金 58,800 千円が繰り越されたことによるものである。

## 第5款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	283,231,000	651,350,213	651,350,213	0	0	368,119,213	100.0
4	264,718,000	545,427,220	545,427,220	0	0	280,709,220	100.0
増減	18,513,000	105,922,993	105,922,993	0	0	87,409,993	

予算現額 283,231 千円に対し、調定額、収入済額ともに 651,350 千円となり、前年度に比べ 105,923 千円(19.4%)増加している。

これは、主に前年度に比べ金属類等売払収入は減少した一方、電力売払収入は単価の上昇により、ペットボトル売払収入は搬出量の増加により、それぞれ収入済額が増加したことによるものである。

収入済額の内訳としては、金属類等売払収入 103,996 千円、電力売払収入 503,178 千円、ペットボトル売払収入 43,153 千円、その他雑収入 1,024 千円である。

## 第6款 組合債

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
5	1,097,900,000	1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	△62,400,000	100.0
4	1,336,300,000	1,232,100,000	1,232,100,000	0	0	△104,200,000	100.0
増減	△238,400,000	△196,600,000	△196,600,000	0	0	41,800,000	

予算現額 1,097,900 千円に対し、調定額、収入済額ともに、1,035,500 千円となり、前年度に比べ 196,600 千円(16.0%)減少している。

これは、主にクリーンセンター大規模改修事業の起債額が減少したことによるものである。

収入済額の内訳としては、大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債 9,500 千円、ごみ処理施設増設事業債 236,400 千円、ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 640,500 千円、クリーンセンター大規模改修事業債 149,100 千円である。

## (3) 歳 出

(単位：円)

	5年度	4年度
予 算 現 額	4,275,768,000	4,172,649,000
支 出 済 額	3,942,469,806	3,782,439,357
翌年度繰越額	0	122,688,000
不 用 額	333,298,194	267,521,643

当年度の歳出は、予算現額 4,275,768 千円に対し、支出済額は 3,942,470 千円（執行率 92.2%）となり、前年度に比べ 160,030 千円（4.2%）増加している。

不用額 333,298 千円の内訳は、主に総務費における 327,195 千円である。

支出済額を款別にみると、議会費 2,450 千円（構成比 0.1%）、総務費 3,648,977 千円（同 92.6%）、公債費 291,043 千円（同 7.4%）である。前年度に比べ総務費 28,378 千円（0.8%）、公債費 131,723 千円（82.7%）の増加に対し、議会費で 70 千円（2.8%）の減少となっている。

節別に前年度と比較してみると、主に需用費 43,676 千円（12.3%）、委託料 42,866 千円（5.0%）、原材料費 69,135 千円（37.9%）、償還金利子及び割引料 131,723 千円（82.7%）の増加に対し、工事請負費 129,951 千円（6.5%）の減少となっている。

款別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	5 年 度				4 年 度	支出済額 増 減	支出済額 構成比率	
	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度 繰越額	支出済額		5 年度	4 年度
議会費	3,511,000	2,449,876	69.8	0	2,520,204	△70,328	0.1	0.1
総務費	3,976,172,000	3,648,976,682	91.8	0	3,620,598,674	28,378,008	92.6	95.7
公債費	293,085,000	291,043,248	99.3	0	159,320,479	131,722,769	7.4	4.2
予備費	3,000,000	0	—	0	0	0	—	—
計	4,275,768,000	3,942,469,806	92.2	0	3,782,439,357	160,030,449	100.0	100.0

性質別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	5 年 度		4 年 度		増減額	増減率	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比			
義務的経費	人 件 費	189,177,626	4.8	184,413,265	4.9	4,764,361	2.6
	扶 助 費	1,050,000	0.0	1,260,000	0.0	△210,000	△16.7
	公 債 費	291,043,248	7.4	159,320,479	4.2	131,722,769	82.7
	計	481,270,874	12.2	344,993,744	9.1	136,277,130	39.5
投資的経費	普通建設事業費	1,414,878,140	35.9	1,595,621,068	42.2	△180,742,928	△11.3
	災害復旧事業費	—	—	—	—	—	—
	計	1,414,878,140	35.9	1,595,621,068	42.2	△180,742,928	△11.3
その他経費	物 件 費	1,295,158,417	32.9	1,216,363,450	32.2	78,794,967	6.5
	維持補修費	746,063,975	18.9	620,304,604	16.4	125,759,371	20.3
	補 助 費 等	5,098,400	0.1	5,156,491	0.1	△58,091	△1.1
	計	2,046,320,792	51.9	1,841,824,545	48.7	204,496,247	11.1
歳出合計		3,942,469,806	100.0	3,782,439,357	100.0	160,030,449	4.2

義務的経費は、481,271千円で、前年度に比べ136,277千円(39.5%)増加している。

これは、主に公債費で131,723千円(82.7%)増加したことによるものである。

投資的経費は、1,414,878千円で、前年度に比べ180,743千円(11.3%)減少している。

これは、主にクリーンセンター大規模改修事業費が減少したことによるものである。

その他経費は、2,046,321千円で、前年度に比べ204,496千円(11.1%)増加している。

これは、主に物件費が78,795千円(6.5%)、維持補修費が125,759千円(20.3%)増加したことによるものである。

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

### 第1款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
5	3,511,000	2,449,876	0	1,061,124	69.8
4	3,643,000	2,520,204	0	1,122,796	69.2
増 減	△132,000	△70,328	0	△61,672	

予算現額 3,511 千円に対し、支出済額は 2,450 千円(執行率 69.8%)となり、前年度に比べ 70 千円(2.8%)減少している。

### 第2款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
5	3,976,172,000	3,648,976,682	0	327,195,318	91.8
4	3,998,620,000	3,620,598,674	122,688,000	255,333,326	90.5
増 減	△22,448,000	28,378,008	△122,688,000	71,861,992	

予算現額 3,976,172 千円に対し、支出済額は 3,648,977 千円(執行率 91.8%)となり、前年度に比べ 28,378 千円(0.8%)増加している。

これは、主にクリーンセンター大規模改修事業費が減少したものの、基幹的設備改良事業費が増加したこと及び維持補修費が増加したことによるものである。

支出済額の主なものは、需用費 398,529 千円(構成比 10.9%)、委託料 899,571 千円(同 24.7%)、工事請負費 1,881,250 千円(同 51.6%)、原材料費 251,505 千円(同 6.9%)である。

### 第3款 公債費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
5	293,085,000	291,043,248	0	2,041,752	99.3
4	167,386,000	159,320,479	0	8,065,521	95.2
増 減	125,699,000	131,722,769	0	△6,023,769	

予算現額 293,085 千円に対し、支出済額は 291,043 千円(執行率 99.3%)となり、前年度に比べ 131,723 千円(82.7%)増加している。

これは、主に基幹的設備改良事業費に係る起債の償還が始まったことによるものである。

支出済額の内訳は、元金 281,296 千円(構成比 96.7%)、利子 9,747 千円(同 3.3%)である。

組合債の前年度末未償還額は 4,156,474 千円で、当年度は 1,035,500 千円を借入れ、281,296 千円を償還した結果、当年度末未償還額は 4,910,678 千円となっている。

### 第4款 予備費

当初予算額 3,000 千円であるが、充用額はない。

## 2. 財 産

### (1) 公有財産

#### ア 土 地

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
5	142,337.09	0	142,337.09
4	142,337.09	0	142,337.09
増 減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

#### イ 建 物

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
5	53,863.98	0	53,863.98
4	53,863.98	0	53,863.98
増 減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

(2) 重要物品

決算年度末の現在高は、次表のとおりである。

(単位：台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机・卓子類	6	△5	1
いす類	3	0	3
箱類	1	0	1
事務用機械器具類	12	△8	4
計器類	35	△32	3
機械類	1,631	△1,626	5
工具類	22	△10	12
車両類	12	0	12
標本模型類	10	△1	9
雑具類	14	△8	6
計	1,746	△1,690	56

取得価格 50 万円以上の重要物品の当年度末現在高は 56 台である。

決算年度中の重要物品が大幅に減少したのは、重要物品の対象となる物品から固定資産台帳に記載している設備類等を除外したためである。



## 議案第7号

岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事  
請負契約の締結について

岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事について、次のとおり請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

令和6年11月20日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
管理者 永野 耕平

### 記

- 1 契約の目的 岸和田市貝塚市クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事
- 1 契約の方法 条件付一般競争入札
- 1 契約金額 金381,802,300円
- 1 契約の相手方 岸和田市土生町7丁目13番8号  
ヒデイ建設株式会社  
代表取締役 堀田 英治



令和6年度 補正予算書

岸和田市貝塚市清掃施設組合



議案第8号

令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第1号）

令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表地方債補正」による。

令和6年11月20日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合  
管理者 永野 耕平

# 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1. 分担金		2,488,820	△43,200	2,445,620
	1. 分担金	2,488,820	△43,200	2,445,620
5. 組合債		455,800	43,200	499,000
	1. 組合債	455,800	43,200	499,000
歳	入	合	計	
		3,660,596	0	3,660,596

歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2. 総務費		3,266,008	0	3,266,008
	2. 施設費	3,024,357	0	3,024,357
歳 出	合 計	3,660,596	0	3,660,596

第2表 地方債補正

(変更分)

起債の目的	補正前								補正後							
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法				備考	限度額	起債の方法	利率	償還の方法				備考
				区分	償還期限	据置期間	償還方法					その他	区分	償還期限	据置期間	
清掃施設整備事業	千円 275,800		%以内	年以内	年以内			令和6年3月28日提出議案第3号3月28日可決	千円 319,000		%以内	年以内	年以内			



# 歳入歳出補正予算事項別明細書

## 1 総括

歳入

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
1. 分担金	2,488,820	△43,200	2,445,620
5. 組合債	455,800	43,200	499,000
歳入合計	3,660,596	0	3,660,596

## 歳 出

(単位 千円)

款	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国府支出金	地方債	その他	
2. 総務費	3,266,008	0	3,266,008		43,200		△43,200
歳 出 合 計	3,660,596	0	3,660,596		43,200		△43,200

## 2 歳 入

(款) 1. 分担金

(項) 1. 分担金

目	補正前の額	補 正 額	計
1. 組合市分担金	2,488,820	△43,200	2,445,620
計	2,488,820	△43,200	2,445,620

(款) 5. 組合債

(項) 1. 組合債

目	補正前の額	補 正 額	計
1. 清掃施設整備事業債	455,800	43,200	499,000
計	455,800	43,200	499,000



### 3 歳 出

(款) 2. 総務費

(項) 2. 施設費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 施設管理費	3,024,357	0	3,024,357		43,200		△43,200
計	3,024,357	0	3,024,357		43,200		△43,200

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額	事業別区分	内訳

地方債の前年度末における現在高及び当該年度末における現在高の見込みに関する調査

(単位：千円)

区分	前年度末現在高			当該年度中増減見込額						当該年度末現在高見込額					
	補正前 の額	補正額	補正後 の額	当該年度中起債見込額			当該年度中元金償還見込額			補正前 の額	補正額	補正後 の額			
				補正前 の額	補正額	補正後 の額	補正前 の額	補正額	補正後 の額						
1 普通債															
(2) ごみ処理施設増設 事業債	1,603,009	0	1,603,009	264,900	43,200	308,100	155,868	0	155,868				1,712,041	43,200	1,755,241
計	4,687,406	0	4,687,406	455,800	43,200	499,000	305,439	0	305,439				4,837,767	43,200	4,880,967
合 計	4,987,978	0	4,987,978	455,800	43,200	499,000	355,449	0	355,449				5,088,329	43,200	5,131,529

